

今 細くても 太くても つながりをいただいている 縁は、
どれもできるだけ大事にしていきたいです。

今日 3月9日は 卒業式です。きっと立派な卒業式だったのだろうなあ・・・。
この便りを作成している 2月28日 木曜日 10時12分 の未来予想図です。
先日 卒業生が2人来校してくれました。1人は公務員、1人は大学生。綺麗にお化粧して、高等部時代のことや近況を語り合い、笑って笑って笑い疲れた2時間。

「高等部の時はあ、もうこれできあいも終わるんだらうなって思ってたんですよ。
でも、卒業してなんか寂しくってメールして・・・今は毎日連絡し合ってるんですよ。」

2月25日月曜日 同窓会入会について、同窓会会長の山越亮子さんが、高等部卒業生に説明しに来てくださいました。3年に一度同窓生が集まる機会があり、50名以上の同窓生が参加してくださるそうです。

今年度も行事のたびに、たくさんの卒業生が元気な笑顔を見せてくれました。東京や愛知県から来てくれた卒業生もいます。本当に嬉しいことです。

「今細くても太くてもつながりをいただいている縁は、
どれもできるだけ大事にしていきたいです。」

裏面に原稿を寄せてくれた山口先生の言葉です。本当にそうだなあと原稿を読んだときにしみじみ思いました。修了しても、卒業してもつながりが続いていくことを願っています。会えなくても心のどこかに、青森聾学校で友だちと笑い合ったことや先生と話し合ったこと等、日々の思い出をしまっておいてほしい。そういうたくさんの思い出が、ミルフィーユのように折り重なって今の自分になっていることも忘れないでほしい。

そうすると「健康第一」ではなく、
「人とのつながり第一」かもしれない
とも思います。

修了生 卒業生の 皆さん
「人とのつながり第一」に
前途に幸あれ
おめでとうございます



NYさん 撮影



思 い

保健部主任 高等部3年1組 担任 山口 真理子

「健康第一」。よく聞き、自分でも時々話す言葉です。風邪や体の痛みなどがあると、それが気になって、自分の心も元気が出なくなってきました。また、逆に、心配事があると、そちらを気にしすぎて、体調にも影響が出てきます。「体の健康」と「心の健康」はつながっている。元気に過ごすためには、どちらも大事、やはり「健康第一」と思います。

学校の中で皆が元気に過ごせるように、いろいろなことがあり、生徒、職員共々、多くの方々が協力し支え合っているのだと保健部の業務を通して知ることができました。

環境面では、子どもたち自身も自分の使用した教室を毎日清掃しています。それに加えて、技能員の方々や就労促進センターの方々も、私たちが清掃の行きとどかない所を隅々まできれいにしてくださっています。また、校内安全点検や、防災設備の点検、教室の環境検査等で、学校職員だけでなく外部の方による細かなチェックもあります。その他にも、冬には大変な除雪作業で、登下校の玄関までの通路確保や避難経路の確保等もしてくださっています。環境美化や安全担当の先生、養護教諭の先生、事務室の方々の連携の下、加湿器や扇風機の配備も少しずつ進み、安心・安全に過ごし、また、学習に集中できるよう、意識と環境が整えられていきます。

それから、健康面では、けがをしたり、具合が悪くなったりした時に手当てや相談にのってくださる養護教諭の先生や、美味しい給食で皆の元気をサポートしてくれる栄養士の先生がいて、皆の健康の維持・増進を図ってくれています。

そして、元気に過ごすためには、環境面や健康面の支援だけでなく、人とのつながりも大事だと感じました。体や心に心配事があっても、子どもたちは友達同士の関わりで自然と元気になったり、私自身も生徒達との関わりや、職員同士の関わりからたくさんの元気をもらったりしています。そうすると、「健康第一」ではなく、「人とのつながり第一」かもしれないとも思います。

人とのつながりを、細いつながりから太く広いつながりに育てていくためには、まずは、勇気を持って思いを伝え合うことが出発点だと思います。いろんな見方や考え方があり、すれ違い、ぶつかってしまうこともあるかもしれません。でも、それでその人が嫌いになるわけではありません。人との縁、人とのつながりは断ってしまうよりも、繋げていく方が難しいことだと思います。私自身も上手ではなく、反省もありこれからもっと学んでいかねばならないです。反省も自分の心にとめ忘れることのないようにしながら、今細くても太くてもつながりをいただいている縁は、どれもできるだけ大事にしていきたいです。

環境や健康面も整えながら、互いの見方・考え方を認め合い、人とのつながりを育てていけるように努力していきたいと思っています。